

2013年3月11日

**最先端の電極形成技術開発を進める Triton Microtechnologies Inc.へ投資
～超薄板ガラスを活用した次世代半導体部材の実用化に向けて～**

AGC 旭硝子株式会社

AGC（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：石村和彦）は、超薄板ガラスを用いた次世代半導体の実現に向けて、最先端の電極形成技術開発を進める Triton Microtechnologies 社（本社：米国アリゾナ）に対して、総額210万ドルの投資を実施しました。AGCの微細穴開け加工技術をはじめとした超薄板ガラス関連技術と同社の電極形成技術を組み合わせることで、ガラスを活用した次世代半導体開発の加速に貢献していきます。

モバイル端末などの小型化、高機能化を実現する次世代の積層半導体は、中継基板（インターポーザー）を経由して、半導体チップとプリント基板を接続する構造となっています。AGCは、超薄板ガラスをインターポーザーに活用するため、非常に薄いガラスをお客様の工程で搬送する積層基板技術や微細な穴開け加工技術を既に開発しています。これらの技術による加工済みのガラス基板をインターポーザーとして製品化するためには、微細穴への電極形成が必要となります。

今般、AGCが投資を行った Triton Microtechnologies 社は、微細穴への独自の金属電極形成技術を保有しており、同社の技術を活用することでガラスインターポーザーの実用化が可能になります。この電極形成技術は、銅ペーストで穴埋めを行う方式であり、生産効率の高い連続プロセスを採用できることが特徴です。また、熱膨張率をガラスに合わせた銅ペーストの利用によって、電極の品質向上にも貢献できます。

AGCは、今後も自社の技術開発を加速するとともに、投資や提携などにより、社外の優れた技術も活用し、ガラスの可能性を広げていきます。

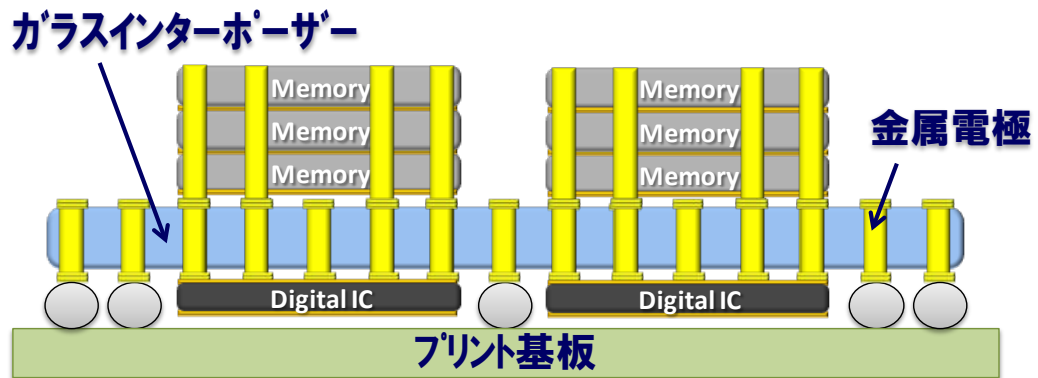
◎本件お問合せ先：**AGC** 旭硝子(株)広報・IR室長 上田 敏裕
(担当：吉田 TEL:03-3218-5603、E-Mail:info-pr@agc.com)

<参考資料>

1. Triton Microtechnologies 社の概要

- (1) 社 名 Triton Microtechnologies Inc.
- (2) 所 在 地 アメリカ合衆国 アリゾナ州 ツーソン
- (3) 資 本 金 2 2 5 万米ドル
- (4) 設 立 2 0 1 2 年
- (5) 事業内容 電極付きガラス基板の製造・販売

2. ガラスインターポーターの構成



3. 電極付きガラスインターポーターの光学顕微鏡写真

